

H30年度の主な取り組み状況

土佐はちきん地鶏の販売拡大

◆重点取組（食鳥処理・加工施設の安定運営に早期に取り組み、県外への攻めの営業活動を実施）

【食鳥処理・加工施設の安定運営】
 ○作業工程の見直し（施設の改善を含む）
 ・適正処理に向けた人員配置再編成及び工程改善
 ・断水対策のための水源確保（7月）
 ・処理環境改善に向けた施設の改修（11月）
 ○職員スキルの向上
 処理工程の改善のための県内食鳥処理施設の視察（7月）

【販路の拡大】
 ○営業人材の確保（首都圏向け営業職員（9月））
 ○大手流通事業者との取引開始（11月）
 ○商談会、イベント等への出店・PR
 量販店「グルー」展示会（10月）、大手流通（11月）、土佐の宴（10月）、大川村謝肉祭（11月）など
 ○産業振興アドバイザーの導入（2回）

【ふるさと納税返礼品への対応】
 ・新たなふるさと納税サイトでの運用開始（6月）
 ・ふるさと納税チラシの作成、*+カギの充実（10月）

H30年度末目標と達成状況
 新規取引件数30社 → 14社（H30.11末現在）

【付加価値向上のための試験研究】
 土佐はちきん地鶏の生産性調査・肉質調査等の実施

【嶺北地域での取扱いの拡大】
 ・地域イベントへの出展・PR・嶺北グルマップによる紹介

観光人材の確保と地域資源を活用した観光振興の推進の取組

- 人材の確保・育成
 - ・民間活力の導入（ホールズと契約締結4/27）
 - ・地域おこし協力隊の採用（情報発信業務1名(9月～)、観光プロジェクト業務1名(10月～)）
- HP充実やSNS活用等の効果的な情報発信
 - ・大川村ふるさとむら公社や地域おこし協力隊のSNSによる情報発信
 - ・イベント（大川村ミニ謝肉祭、土佐の豊穡祭等）の開催・出展
 - ・公社ホームページの内容充実に向けた協議
- 旅行商品の磨き上げ
 - ・白滝の里 山歩きツアーの実施：7回延べ38名参加(11月末現在)
 - ・村内の自然を活用した募集型体験ツアー実施：3回延べ18名参加(11月末現在)
 - ・高知シクロクロス実行委員会との村内MTBコース候補地整備、モニターイベントの実施
 - ・ワカサギ釣りイベントの実施：50名参加
 - ・星空&三日月観望会の実施：24名
- 白滝の里施設改修基本計画の策定
 - ・基本計画策定委託業務契約締結（(株)相愛）
 - ・基本計画検討委員会の開催(11月～)
- 生活支援部会と連携した大川村ならではの新たなメニューの開発
 - ・ゆず塩ラーメンやアイススクリームブリュレ等の新メニューの提供開始
 - ・玉緑茶めれんげ、400人クッキーの販売開始

H30年度末目標と達成状況
 白滝の里宿泊者数1,400人
 → 1,080人（H30.11末現在）

【四国西部エリア戦略型観光サービス創出事業】 (株)ソラヤマいしづちの設立

集落活動センターにおける活動の充実と新たな人流・物流の仕組みの構築

【拠点機能の強化】
 ○大川村バル開催（6/15、10/12）
 ○新たな飲食メニューの開発、提供
 ゆず塩ラーメン、しょうゆラーメン、玉緑茶クリームブリュレ、デザート[F]（パバロア）、杏仁豆腐
 ○加工品の開発、販売
 玉緑茶めれんげ、400人クッキー、はちきん地鶏加工食品（カレー、シチュー、たれ漬け、チャーシュー、ハンバーグ）
 ○SNSによる情報発信

【新たな移動手段・物流の仕組みの構築】
 ○「今夜はしゃべらナイトin大川村」開催（10/12）
 →公共交通に関する意見交換を実施
 ○大川村地域公共交通会議開催（11/26）
 →大川村コミュニティバス実証運行を決定

H30年度末目標と達成状況
 新メニュー等の開発数5品 → 5品達成
 産直商品等取扱数+10品目 → +24品目達成
 貨客混載の実証運行の実施 → 1月実施予定

課題

◆食鳥処理・加工施設の早期安定運営

- ・マネージメント人材の早期確保
- ・食鳥処理の作業効率化

◆販売の拡大

- ・大手流通業者との連携
- ・県内および関西圏等の営業人材の確保
- ・県産畜産物としての更なる認知度向上

◆メインリーダーとなる人材の育成

◆HPの内容充実等、効果的な情報発信

◆旅行商品の磨き上げ

◆白滝の里施設改修基本計画の策定

◆大川村ならではの食の広報強化

◆(株)ソラヤマいしづちとの連携

【拠点機能の強化】

- ◆観光・交流・生活支援の複合拠点としての態勢づくり
- ◆人材の確保
- ◆収益性向上・原価管理
- ◆情報発信の継続

【新たな移動手段・物流の構築】

- ◆コミュニティバス運行体制の確保
- ◆広報等による住民周知の徹底
- ◆利用促進策の検討

課題を踏まえた今後の展開・H31年度取組方向

H30年度の今後の展開

- 食鳥処理・加工施設の安定運営
 - 食鳥処理技術の向上に向けた専門家による指導およびアドバイス（2月）
 - 作業の安定及び効率化（新たな機器の導入検討）（1月）
- 販売の拡大
 - 大手流通事業者と連携した販売体制の確立（～3月）
 - 営業人材の確保（～3月）

H31年度取組方向

- 食鳥処理・加工施設の安定運営
- 販売の拡大
 - 首都圏担当による積極的な販売促進（関西以西を含む）
 - 県内における利用促進への取組（県内量販店や地域イベントなど）

H30年度の今後の展開

- HPの内容充実等、効果的な情報発信
 - ・ツアーやイベントの参加者増に向けた情報発信の強化
 - ・公社ホームページ改修
- 旅行商品の磨き上げ
 - ・ワカサギ釣り等、ダム湖面を活用した体験メニューの開発
 - ・レンタルマウンテンバイクの開始に向けたコース開発
- 白滝の里施設改修基本計画の策定
 - ・基本計画検討委員会の開催、基本計画の策定

H31年度取組方向

- 民間企業を活用したOJTによる人材育成
- 土佐いほく博と連動した情報発信
- 地域資源を活用した新たな旅行商品の開発（(株)ソラヤマいしづちとの連携を含む）
- 白滝の里施設改修基本設計・実施設計の策定
- 大川村ならではの食の広報強化

H30年度の今後の展開

- 大川村コミュニティバス実証運行（H31.1～）
 - ・エリア限定で配食サービスと住民輸送を併せて実施
 - ・村内全域での予約型運送を実施

H31年度取組方向

- 観光・交流・生活支援の複合拠点としての機能強化
 - ・配食弁当製造・配達、コミュニティバス受付・配車
- 大川村コミュニティバスの充実
 - ・配食ルート見直し、農産物集出荷、荷物配送などを検討